

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学校法人 七松学園 ななつまつトレイン (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	認定こども園の中にあるので、設備を共有することができ、充実した環境を提供できる。	園庭や中庭、アリーナ、ホールなど、子ども達の活動の内容や状況に合わせて使い分けができています。園の活動で使う遊具等はあらかじめ予約票に記入していただき、重ならない様に工夫しています。	体育遊具は、使用したい日が重なることも多いので、よく使用する物に関しては、少しずつ独自の物も増やしたい。
2	未就園の子ども達や他の施設に通っている子ども達にも、認定こども園の様子を見ていただいたり、同じ場で遊ぶ環境を提供できる。 認定こども園に通園している子どもに関しては、普通の保育の様子を知る事ができ、トレインでの活動に活かす事ができる。	未就園で利用されている方は、砂や泥遊びなどを大胆に遊ぶ機会を持ってもらえるようにしている。 園に通園している子どもにとっては、自分の保育室以外にも安心して過ごせる場として機能するように担任と連携をとって、訪問のルールを決めている。	家庭では味わえない様な活動を充実することによって、発達に働きかけられるように計画を立てる。 クールダウン等で必要な子どもには訪問のルールを守りながら、必要に応じてゆっくりと過ごせる場を提供できるように園と連携を図る。
3	開所1年目だが、児童発達責任者のリーダーシップのもと、子ども達の成長に向けて職員が蜜に連携して活動を行っている。	子どもの成長や、活動で感じた事、気づいたことなどを活動後に気軽に話し合える雰囲気を作っている。	事例研究や研修会などをする機会を今より増やし、子ども一人一人についてより深く知り、支援に活かせるように学びを深めたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムやきょうだい支援など、まだ取り組めていない活動がある。	開所1年目ということもあり、家族支援プログラムやきょうだい支援などのニーズ調査等まで追いついていなかった。	ニーズ調査を行い、ニーズがあれば来年度から順次実施していくように計画を立てたい。
2	利用する子どもの増加や保育所等訪問支援の開始によって、業務量が増えているので改善が必要。	活動の時間帯には職員数を確保しているが、記録や連絡帳を記入する際には、時間により職員数が減ってしまう。	以前はPCが1台とタブレット2台だったため、記録の記入ができない職員がいたが、PCを1台増やしたことにより、少し改善されている。手書きの業務についても順次ICT化を進めて効率よく事務仕事ができるようにしたい。
3	開所一年目ということもあり、教材や用具等の整備が必要。	教材を新たに作っているため、時間も費やしている。	徐々に教材を揃えていき、個別の活動も充実させていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 学校法人 七松学園 ななつまつトレイン (児童発達支援)

公表日 2025年 2月 10日

利用児童数 2025年 1月 1日 21名 回収数 14

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1	のびのびと体も使って楽しんでくれています。	身体を動かすことが出来る場、机を配置して取り組める場とを設けています。今後も活動に応じてスペースを使い分けていきたいと思っています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14				子供一人に充分過ぎる程の人数の先生方活動を見て頂いてありがとうございます。とても手厚く、安心してお任せしております。とても丁寧な子どもに接してくれていて、嬉しいです。	今後もお子様の成長を支えていけるように職員の配置等、適切に行っていきたいと思っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			2		園内はバリアフリーに対応した造りとなっております。スケジュールは分かりやすく絵や文字で伝えたり、活動の場を区切って使い分けなどの構造化をしております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			2	清掃状態や道具の整理整頓等、いつ見ても綺麗です。	活動終了後に、職員全員で清掃と翌日の準備をする時間を設けております。お子様に快適に過ごしていただけるように今後も環境を整えていきたいと思っています。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1	気になる点を見つけてくださり、落ち着いて次のステップに進めるような色んな対策、方法を提案、実行して下さいます。	言語聴覚士や、保育経験者等子どもの成長を見守る職員が、チームで一人一人のお子様にかかわれるよう、今後も研修等を行い勉強していきたいと思っています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			2	気になる点を見つけてくださり、落ち着いて次のステップに進めるような色んな対策、方法を提案、実行して下さいます。	支援プログラムについては、HPやインスタグラムにて公表しておりますので、ご覧いただけると幸いです。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14				気になる点を見つけてくださり、落ち着いて次のステップに進めるような色んな対策、方法を提案、実行して下さいます。	個別の支援計画については、保護者のニーズやお子様の様子からの課題等を踏まえて児童発達支援管理責任者が作成、職員が熟知して活動しております。ニーズを整理し、より良い発達に繋げていけるようにしていきたいと思っています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1	気になる点を見つけてくださり、落ち着いて次のステップに進めるような色んな対策、方法を提案、実行して下さいます。	今年度開所したため、移行支援についてはまだ実績がありませんが、次のステップについてもこれから丁寧に取り組んでいきたいと思っています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			2	気になる点を見つけてくださり、落ち着いて次のステップに進めるような色んな対策、方法を提案、実行して下さいます。	職員でいつも共有して、お子様の成長につながるような支援を行っていききたいと思っています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			2	日々色んな活動を取り入れてくださっています。	長期で取り組むもの、短期で取り組むものど、お子様の状況に応じてプログラムを作成しております。季節の行事等も取り入れて、活動が単一化されないように教材研究もしています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	3	2		認定こども園内にある施設なので、園庭やホールなどの場所の共有は積極的にしていますが、未就園のお子様は、直接園見と触れ合う機会は少ないと思います。認定した場ではないですが、園児と同じ場を共有することで、自然なかかわりが見られる機会を増やしたいと思っています。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				しっかり説明していただきました。	申込をしていただく前に、運営規程等について説明し、重要事項説明書にサインをいただいております。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				しっかり説明していただきました。	児童発達支援管理責任者と面談を行い、どの様に活動していくかのご相談後、支援計画を立てて保護者の方に説明をしております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	2	4		ご家族に対してのプログラムについては、今後検討して取り入れていきたいと思っています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2				お迎えに来られる保護者様には、直接お話をできるのですが、なかなかお会いできない保護者の方には、直接お話できる機会が少ないと思います。日々の活動の様子は連絡帳でお知らせしておりますが、何かあればご連絡いただきお話できる機会が持てたらと思っています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2		2	別教室にいらしゃっても職員の方々と連携し、必ず大切なことや気になること、子供が頑張ったことなど報告して下さいます。	定期的には、支援計画の見直しの際に全員の保護者とお話をする機会を設けておりますが、その他面談は随時行っておりますので、ご連絡いただけたらと思います。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1		お子様の成長を共有し、より良い活動ができるようになっていきたいと思います。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	6	5	私自身が仕事をしており、そのような機会があっても参加できていません。	今後の課題として、取りれていきたいと思っています。		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2		1		相談や面談は随時受付しておりますので、ご連絡いただけると幸いです。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			4	Instagramでの情報発信に努めます。自己評価については今回が初めてとなります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1	個人情報については、鍵付きの書庫に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		6	重要事項説明書にて、入所時に説明しております。緊急の場合は重要事項説明書のマニュアルに沿って対応いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		6	認定子ども園と合同で月に1度避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			2	重要事項説明書に沿って行っていきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			4	重要事項説明を行う際に、事故発生時の対応について、もう少し詳しくお知らせしていきたいと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				とても楽しんで通所させていただいております。これからも、トレインが心地よく過ごせる場になるように、努力していきたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13			1	お子様の得意なことを伸ばし、苦手なことにはスモールステップで取り組めるように活動を工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1			心から満足しております。いつもトレインの活動にご協力いただきありがとうございます。これからお子様ที่安心して通える場になるように、努力していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	学校法人 七松学園 ななつまつトレイン (児童発達支援)		公表日		2025年 2月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
体制 整	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		保育現場であることで、幼稚園の様々な場所を利用することができる。 個別、集団、それぞれ対応できるように緩急を設定している。	保護者の面談、相談の部屋の改善が必要だと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	子どもの人数把握の為にアプリを利用し、その日の利用人数の把握をし、職員もその人数にあわせて配置している。 利用定員がオーバーすることなく運営できている。	今後保育所等訪問の利用が増えること、来年度の時間枠の変更に伴い改善が必要だと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	未就園児や言葉のみでは理解できない子どもに対して、わかりやすいように絵や写真で伝えるようにしている。	一人一人の発達に応じて教材研究を進めていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		1日最後の活動あとに清掃を行っている。また、定期的に環境整備、整理整頓をおこなっている。	今後も環境の整備の努めていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		活動の部屋を2部屋用意し、状況に応じて使えるように工夫している。 必要に応じて空間を分けられるようにしている。	
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6		目標等は、いつでも確認できるようにしている。 報告、相談が職員間でいつでもできる環境である。	ケースカンファレンスを定期的に行う時間を確保する。 子どもの支援に時間を要することから、職員間の話し合いの時間の確保は課題の1つでもある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		送迎時間、連絡帳で可能な限り伝えるようにしている。	今回初めて、保護者から評価をしていただくので貴重なご意見として、今後改善に反映させていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		全員で集まる機会もあり、意見交換をしやすい環境である。	時間の確保が課題。対面で難しい場合は、情報共有システムを使用していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		まだ行ってないため、今後の課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			利用している児童の関連施設からの感想や意見は聞いているが、評価表なども示して行くようにする。
支 援 の 実 施	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPやインスタグラムで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者との面談、子どもの活動の様子を観察し、児童発達支援管理責任者が支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		子供の記録や指導時の様子の話をもとに作成している。 児童発達支援管理責任者が子どもと実際に関わると共に、支援をしている職員に子どもの様子を聞いた上で支援計画の作成を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員が全員共有できるように活動時間内はファイルを開覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		検査はしていないが、津守式やKIDS乳幼児発達スケールなど、また持参された発達検査、行動観察など参考にしながらアセスメントを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必要な事項は全て支援計画に記載している。	研修に参加し、より内容について学んでいく必要がある。 今後職員みんながもっと深く理解する必要があると考える。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	個別支援については、担当する子どもに応じた教材等の作成や選択を担当者と児童発達管理責任者が話し合って決めている。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		個々の発達に応じてプログラムを選択している。季節の行事に関することや、興味関心を広げられるような活動等を取り入れて固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動、集団活動の両方を利用しながら、発達を促すような活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		短時間ではあるが、毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	参加できるもので話す。参加していない人には、次の日に、報告する。 職員個々の打ち合わせや振り返りはおこなっている。 子どもの様子を伝え合う場が自然とできている。	職員の勤務時間がバラバラの為、全員集まることは難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		活動ごとに個々の記録を細かに取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		基本的には半年に一回見直しを行っている。	
関 者 と 保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		会議に参加する際には、議題に応じてその担当の職員が参加する様に計画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		教育・保育に関しては、連携を取っているが、そのほかの分野との連携は今後の課題である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			相談事業所を利用されている方とセルフプランの方がいらっしゃるの、それぞれの立場との違いを認識して今後関係機関との情報共有や相互理解を図っていききたい。移行に向けては、開所1年目のためこれからシステム作りをしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		今年開業であり、今後おこなっていく。今後の課題である。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		今後の課題である。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		認定こども園の施設内に設置されているため、園庭等の場の共有は積極的に行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		コノベルというアプリにて、活動内容や子どもの成長について連絡帳で発信している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		今後の課題である。
へ の 説	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		入所の際に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談や子どもの様子を観察するなどしてアセスメントを行い、保護者の方の意向を確認している。	

	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援計画作成後に、保護者と面談を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	保護者から希望があった時、職員が必要だと思った時に行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	親子指導に参加している保護者同士の交流を行っている。	親子指導利用以外の保護者の方にも交流していただける場を今後検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		面談の申し入れがあった際にはなるべく迅速に対応できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			Instagramの更新が滞りがちなので、更新できるようにしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は鍵付きの書庫に保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々に応じて、伝達しやすい方法で伝える様に工夫している。(絵カード、文字、数字などの視覚支援や、短い言葉で端的に伝える、ジェスチャー等)	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		行事などを実施していないが、今後開催していく。
等 の 対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各種マニュアルについては、重要事項説明書にて保護者へ説明している。職員間でも共有している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		認定こども園の避難訓練に月1回参加している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		利用前の面談の際に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		食事やおやつを提供する活動を行っていないため、現在是对応していない。今後、必要な行事などがあれば対応していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		研修等で安全管理について学ぶ機会を増やしていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	非常時の対応については、重要事項説明書にて説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		ヒヤリハット事例について会議で話し合う機会を設ける。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		職員全員で研修会を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	身体拘束が必要な児童が在籍していない。	